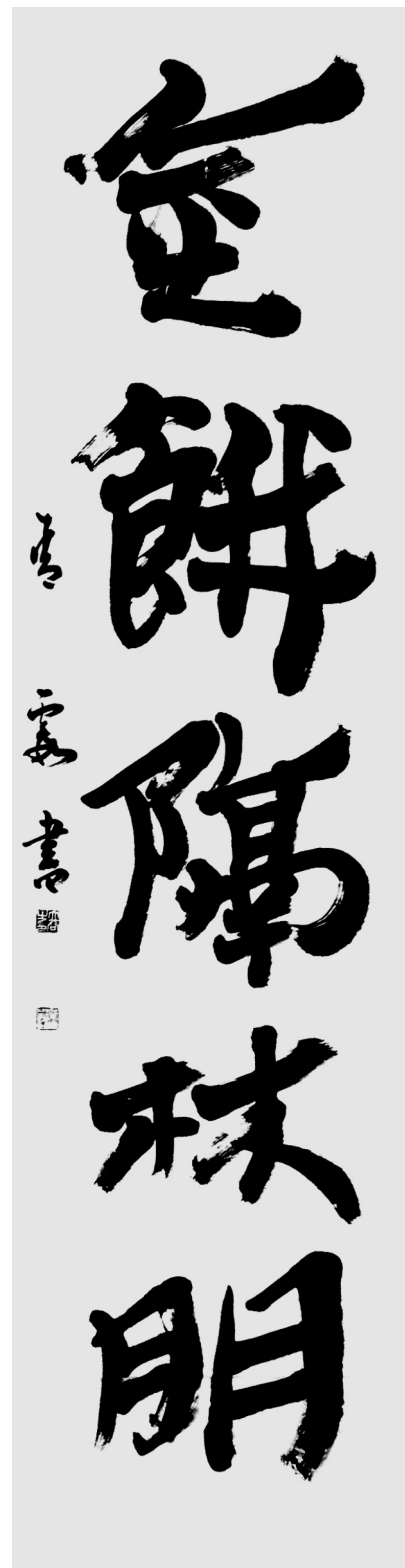
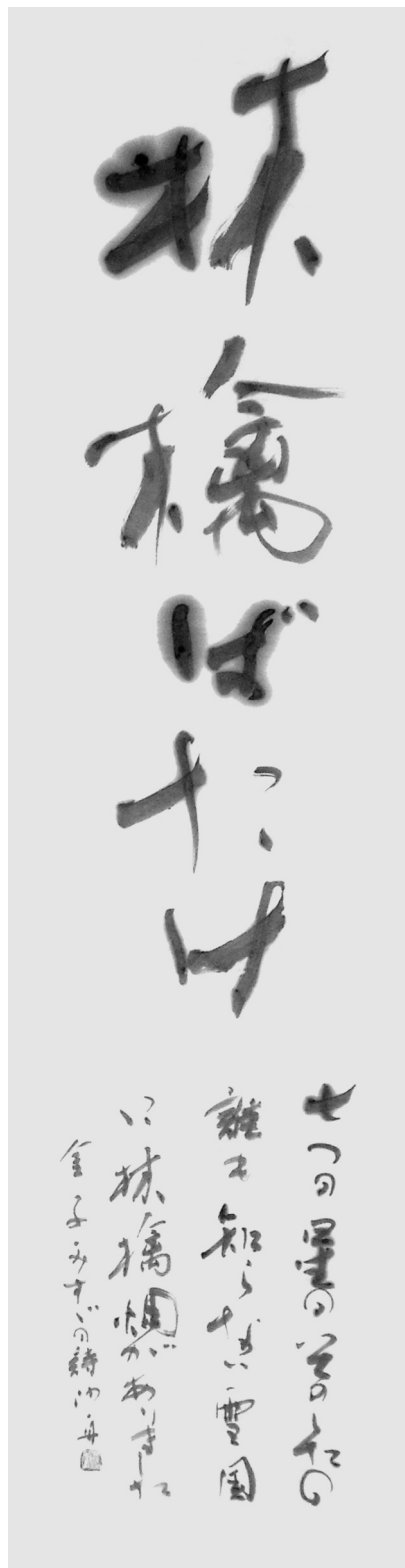




条幅規定

成家 立谷 青霞

木簡の雰囲気をもよく出して、全体のまとめ方もさすが成家の作品である。たゞ形よくは出来ているが、線に強弱や抑揚をつけ生命感のある作品を目指してほしい。

条幅随意

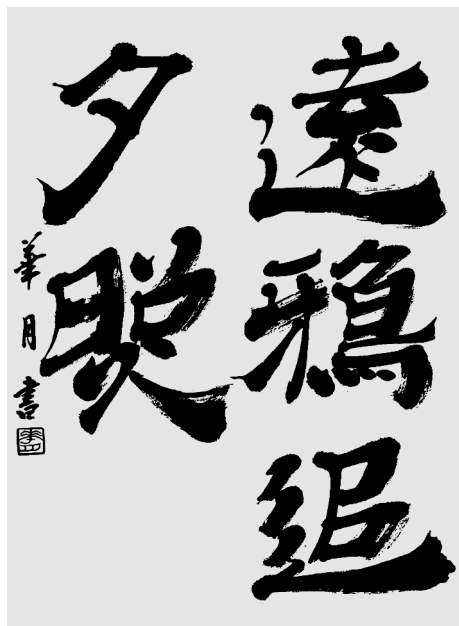
師範正 下川 沙舟

大分、青墨の色の出し方に味が増してきた。詩情に合った構成と墨色が相俟って、星空の下に白い雪で覆われた赤いリンゴ畑の風景が目の前に浮んできた。詩文書の醍醐味を感じる。

条幅随意(臨書)

成家 秋永 春霞

急がず、慌てず、ゆったりとした気持ちで運筆し、無理がなく、李邕の荒けずりでこまやかさに乏しい評を見事に補ったような臨書です。これにスケールの大きさを加味すればさらに佳。



半紙規定

成家 松原 華月

木簡の筆意で規定課題をまとめる腕は流石である。永年の修錬を積まれたその技を自然に発揮出来てこそ成家であろう。さらに期待大。



半紙随意

準師範 鎌田 敬子

ふんわりとことばを包み込み、自然な流れと空間の美しさ、気負いのない心の充実が、作品を温かいものになっている。今後に期待。



半紙随意(臨書)

準師範 林田 林子

法帖をよく観てその特徴をうまく表現された快作です。紙のせいか、やや重厚さに欠けたのがおしい。紙・筆・墨にもこだわりをもちょう。



半折1/2縦

成家 石橋 芝水

なかなか達者な用筆と躍動感のある線で個性を前面に出したような作品である。たゞ見せ場が多くありすぎて、少し散満さを感じるのをおしい。重厚感が今後の課題になろう。



学生部条幅 (1/4)

小六 六段 野見山 和
明るくすっきりとした線で、伸びやかに書けています。基本の筆づかいがしっかりとできています。これからのさらに上を目指してがんばってね。

阿部あやか 小二 八級
のびのびとしたふでづかいで、げんきよくかかっています。字の形もよくととのって、しっかりと練習のできた作品です。

山崎 心海 小三 準一級
気持ちよく大きく筆を動かして伸びやかにかかっています。左ハライとハネをていねいに書く、さらによくなりますよ！

三城 未愛 小四 準二級
紙いっぱいにな愛さんの元気あふれた作品です。字の形もよくととのって、さらに上位有段者に負けない力をもっています。

末永 渚 小五 準六段
難しい課題でしたが、バランスよく明るく書けています。さらに上の段位を目指し、これからがんばって下さい。期待大！

小野 優莉 小六 準特待生
温か味のある線で、漢字と平仮名のバランスも良く、どうどうと書けています。この調子でこれからも頑張ってください。期待大。

池田 朱里 中一 四段
「富士山」を思い浮かべるような堂々とした作品です。上位の有段者に負けない力の持ち主です。名前まで良く書けています。

しぶ田れいな 小一 準七級
しつかりとしたつよいせんで、どうどうとかけましたね。おしゅうじのたのしさがつたわってくるげんきのよいさくひんです。

伊賀良奈緒 小四 準五段
力のこもった線で名前まで気をぬかずに、どうどうと書けています。今後は一枚でも多く練習をして、さらに上を目指そう！

古賀 遥奈 小五 四段
丁ねいな筆づかいで、名前までしつかりと練習のできた明るい作品です。これから体全体で伸びやかに書く、さらにようになります。

横川 美公 中二・三特待生
自分のリズムでうまく流れをつかみ、伸びやかで明るい作品にとっても好感がもてます。さすが特待生です。一般部へ挑戦を！

硬筆部最優秀作品

(11月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

学校に、もことい
うモルモットがい
ます。目は、まる
くて、かわいいです。
うらべ 七な

テレビの画面には会場全
体がうつし出され、選手た
ちはコート全体に広がっ
て、体を動かしています。
中平 未夢

残雪は、あの長い首をかたむけ
て、とつぜんに広がった世界に
おどろいたようでありました
が、バシッ。快い羽音一番、一直線
に空へ飛び上がりました。
佐藤 千夏

メロスも満面に喜色をたたえ、し
ばらくは王とのあの約束をさえたれ
ていた。祝宴は、夜に入っていよ
いよ。乱れ華やかになり、人々は外
の豪雨を全く気にしなくなった。
百留 実和

図書かんの本だ、な
には、本のしゅる
い、を知らせる名前
がついています。
入江 春菜

テレビの画面には会場全
体がうつし出され、選手た
ちはコート全体に広がっ
て、体を動かしています。
宮本 詩

「田んぼが、詩に書かれた田んぼの
ように、かがやいて見えましたよ。」
と、昔の教え子たちが言う。苦しい
農作業の中に、楽しさを見つける。
工夫することに、喜びを見つける。
大石 智花

書譜
松れ葉舞う季節となり、
先般は、旅行中のあつた、い訪問で失礼
しました。滞りね、あつた、い訪問で失礼
お話し、おまわりの、残念に思っています。
す、かり、馳走になさ。先月のあつた、い
お客様のエッセイ係、太幅にアツた、い
は、おまわりの、い。
今度は、ぜひ、私の料理の腕を、ふりわて
て、ください。と、急ぎお話し。
祥峰園

なつとつはむした大豆
にナットウキンをくわ
え、あたたかい場所に
日近くおいて作ります。
木原 はな

残雪は、あの長い首をかたむけ
て、とつぜんに広がった世界に
おどろいたようでありました
が、バシッ。快い羽音一番、一直線
に空へ飛び上がりました。
岡 くるみ

メロスも満面に喜色をたたえ、し
ばらくは王とのあの約束をさえたれ
ていた。祝宴は、夜に入っていよ
いよ。乱れ華やかになり、人々は外
の豪雨を全く気にしなくなった。
田坂 真莉子

無地の食器は料理を引き立て、自
らの個性を封じ、背景に徹すること
で、食材の色が、つ前に出るのだらう。
白い皿は何かを盛ること、で生かされ
逆に何ものせなければ物悲しい。
村上 嘉子

占部 七菜
小一 6級
一じいおてほ
んをよくみて、
いっしょうけん
めいにかけてい
ます。むずかし
いかんじもとて
もじようずにか
けましたね。

中平 未夢
小四 準三段
ペンをじようず
に使いこなし、
名前まで集中力
をさらさずにし
っかりと書いて
います。日頃の
練習の成果だと
思いますよ。

佐藤 千夏
小五 準四段
本文・名前とも
に完成度の高い
すばらしい作品
です。お手本を
よく観察して、
しっかりと練習
ができています。
期待しています。

百留 実和
中学 準三段
気のこもった線
で一字一字丁寧
に書いています。
今後はペン(ゲ
ルインク0.5mm)
で書くことにも
チャレンジして
みてください。
期待大。

入江 春菜
小二 3級
力のこもった線
で、本文・名前
ともに、いねい
に書いていて、
つばです。これ
からもこのちよ
うしでがんばっ
てくださいね。

宮本 詩
小四 二段
明るくすっきり
とした線、パ
ランス良く書け
た作品です。名
前も本文に負け
ないよう、もう
少し大きく書き
ましょう。

大石 智花
小六 五段
さすが上位有段
者の作品です。
ペンの使い方も
上手です。今後
はさらに上の段
位を目指して、
一枚でも多く練
習しましょう。

豊嶋 祥波
一般 師範
深みと温か味の
ある線と自己の
リズムが一つの
曲を奏でている
ような見えてい
心地の良い作品
です。心の充実
を感じる佳作で
す。

木原 羽菜
小三 準初段
さすが有段者の
作品です。あた
たか味のある線
にとともみ力を
かんじます。こ
れからもさらに
上の段を目指し
てください。

岡 くるみ
小五 準五段
少し横画が右に
上がった点はお
しいのですが、
ペンを上手に使
い、漢字と平仮
名のバランス良
く明るく書いて
います。期待大。

田坂 真莉子
中学 特待生
明るく澄んだ線
に好感のもてる
作品です。さす
が「特待生」で
ね。一般部へも
挑戦して、自分
の力を試してみ
てください。

村上 嘉子
一般 六段
気持ちの通貫し
た、自己のリズ
ムで楷書と思え
ないほど伸びや
かに書いていま
す。無理のない
ペン捌きが自然
で、白眉の作で
す。